

# 防音フェンス すややR 施工説明書

- この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。また、「フェンス用 多段柱（控え無し）」の説明書 [ME-2145] および「目隠しコーナー継手」の説明書 [ME-2149] も合わせて参照してください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。
- 商品保証・各種ご注意・お手入れ方法につきましては「総合カタログ」をご参照ください。

## 注意事項

### ◎設置場所・位置について

- 本商品は不燃材料ではありません。不燃材料使用地域でのご使用は避けてください。
- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

### ◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁

処理をしてください。



- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。●養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- 支柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。
- 多孔質樹脂の切断加工には、粉じん発生の少ないカッターナイフ等の手動工具を使用し、電動工具は使用しないでください。

### ◎注意（設置にあたって）

※フェンスは、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すりとしては使用しないでください。

※風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、柱梱包内の取付説明書をご覧ください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示します。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示す。

## もくじ

梱包明細.....	2
納まり図.....	2
施工前の確認.....	3
柱の設置.....	4
フェンスの取付け.....	5
2-1. 直線部の取付け.....	4
2-2. コーナー部の取付け.....	5
2-3. 下部ふさぎ板の取付け.....	6
フェンスの切詰め.....	7
3-1. 上・下胴縁の切詰め.....	7
3-2. フェンスの切詰め.....	7
施工工事店様、販売店様へのお願い.....	8



施工にあたっては、下記の説明書を合わせて参照してください。

- フェンス用多段柱(控え無し)[ME-2145]



- 各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。

# 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

※表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容
フェンス本体	R 1 型	本体 (1)・施工説明書 [ME-2231] (1)
	R 2 型	本体 (1)・施工説明書 [ME-2231] (1)
	R 3 型	本体 (1)・施工説明書 [ME-2231] (1)
エンドキャップ		エンドキャップ (上・下各2)・φ4×10トラスタッピン1種 (4)
目隠しコーナー継手	H16~H20	コーナー継手(1)・ビスセット(1)・コーナーブラケット(8)・継手キャップ(2)・説明書[ME-2149]
	H23~H29	コーナー継手(1)・ビスセット(1)・コーナーブラケット(12)・継手キャップ(2)・説明書[ME-2149]
下部ふさぎ板		下部ふさぎ板 (1)
下部ふさぎ板用部品セット		下部ふさぎ板取付金具 (2)・下部ふさぎ板固定金具 (2)・下部ふさぎ板連結金具 (1) φ4×8トラスタッピン3種 (4)・φ4×19セルフドリリングビス (4) M6×14六角ボルト (6)・M6用平座金 (6)・M6用バネ座金 (6)・M6袋ナット (6) 下部ふさぎ材エンドキャップ (左右各1)・端部カバー材 (2)・φ4×10皿ビス (4)

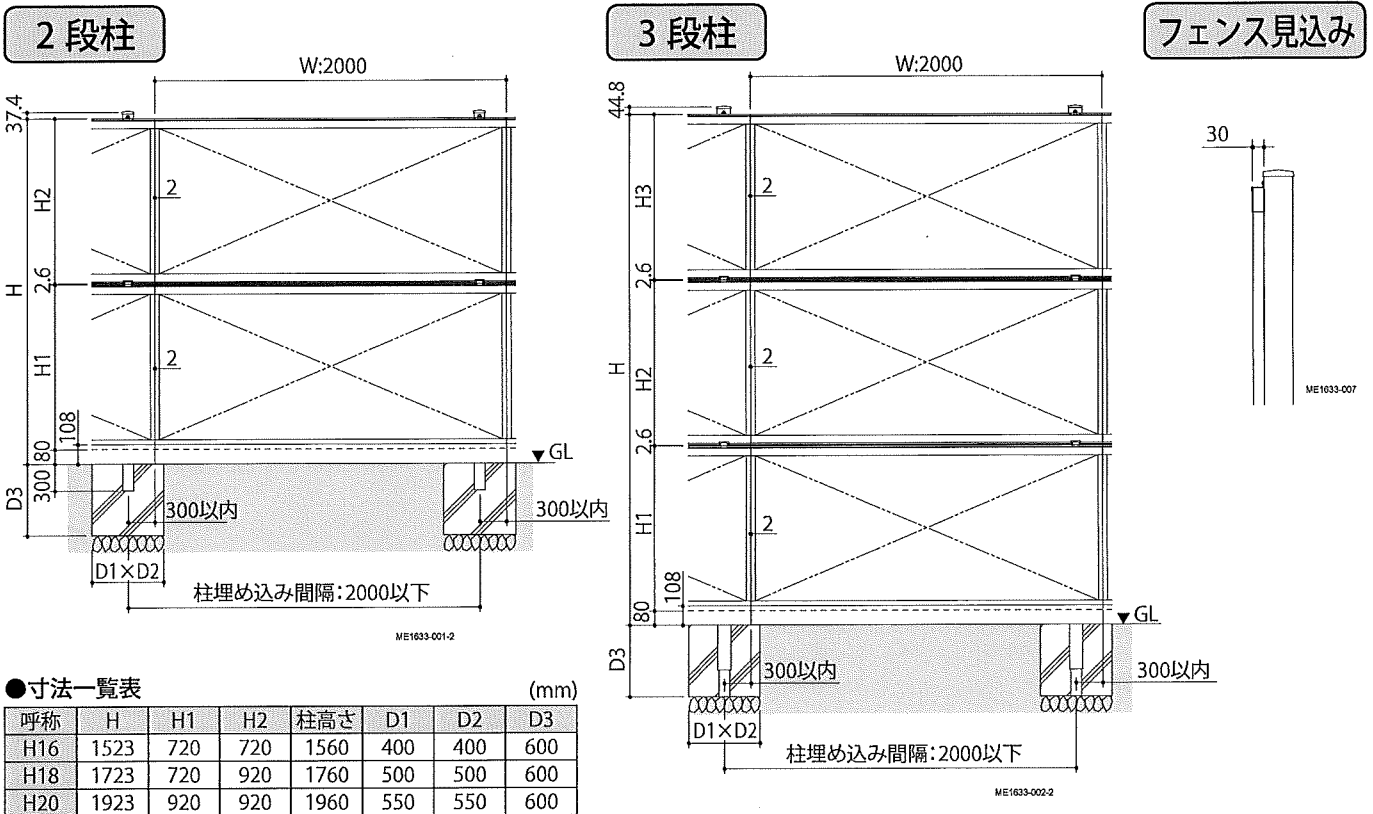
## 別売品

※表内の（ ）は個数を表しています。

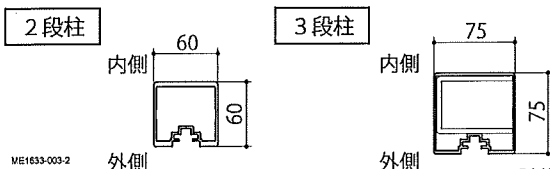
梱包名称		梱包内容
端部カバー	R 1 型	セット部品 (1)
	R 2 型	グレチャン (1)・セット部品 (1)
	R 3 型	セット部品 (1)
連結部品		ジョイントスリーブ (2)・φ4×10トラスタッピン1種 (4)

# 納まり図

- 施工前に確認してください。



## 柱の設置方向



### ●寸法一覧表 (mm)

呼称	H	H1	H2	H3	柱高さ	D1	D2	D3
H23	2245	720	720	720	2290	500	500	800
H25	2445	720	720	920	2490	550	550	800
H27	2645	720	920	920	2690	600	600	800
H29	2845	920	920	920	2890	650	650	800

# 施工前の確認

●施工前に確認してください。

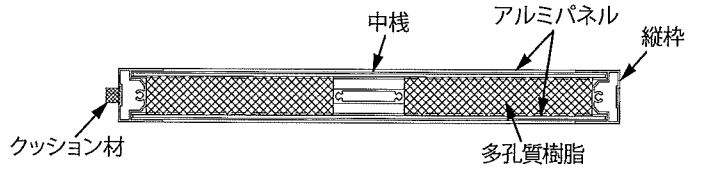
## フェンス本体について



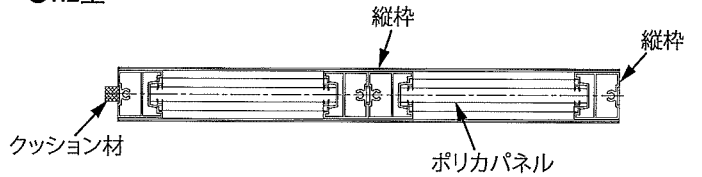
●フェンス本体には、あらかじめ片側の縦枠にクッション材が貼付いています。

### フェンス横断面図

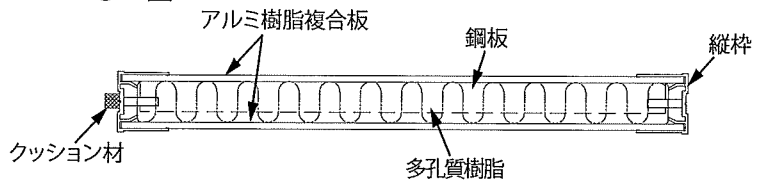
#### ●R1型



#### ●R2型



#### ●R3型



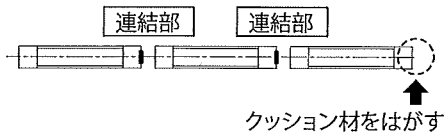
ME1633-004-1

## フェンスの連結について

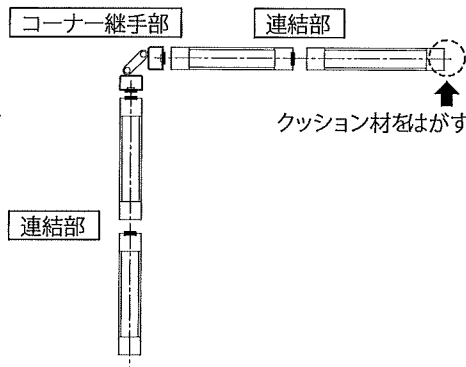


●フェンスを連結する場合は、下図を参照し、端部のクッション材をはがしてください。  
●単体で使用する場合は、クッション材をはがしてください。

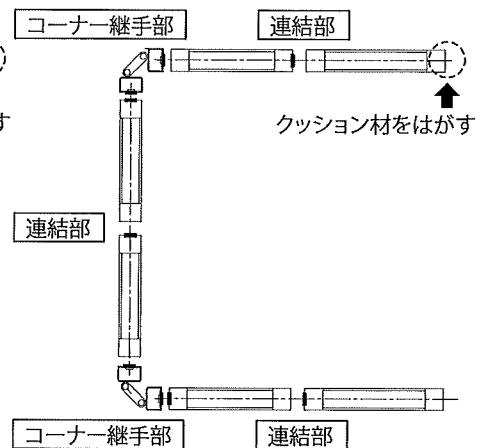
#### ●直線の場合



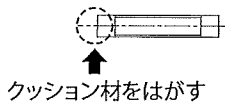
#### ●L字型の場合



#### ●コ字型の場合



#### ●単体の場合



■:クッション材位置

ME1633-005-1

# 1

## 柱の設置

- 柱の設置については、「フェンス用多段柱（控え無し）」の施工説明書 [ME-2145] を参照してください。

①「フェンス用多段柱（控え無し）」の施工説明書を参照し、柱を設置してください。



参照説明書：  
フェンス用多段柱（控え無し） [ME-2145]  
「1. 柱の設置」

# 2

## フェンスの取付け

- 「納まり図」で巾や高さ寸法を確認してください。
- 「フェンス用多段柱（控え無し）」の施工説明書 [ME-2145] を合わせて参照してください。

### 2-1

#### 直線部の取付け

①フェンス直線部は、「フェンス用多段柱（控え無し）」の施工説明書を参照して施工してください。

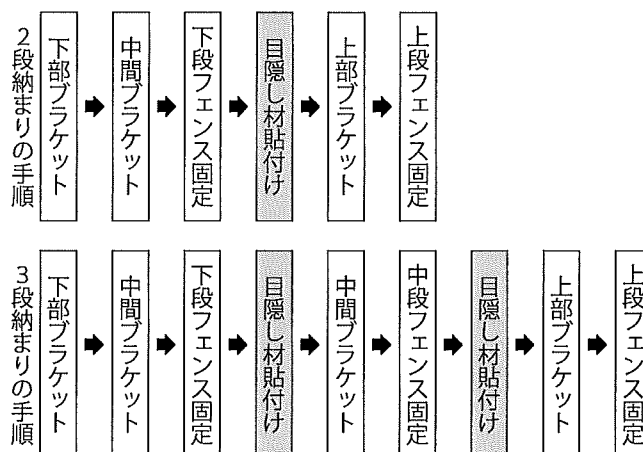


参照説明書：  
フェンス用多段柱（控え無し） [ME-2145]  
「2. フェンスの取付け」

※フェンス連結部は、次ページの図を参照して、ジョイントスリーブを取付けてください。

※フェンス端部は、次ページの図を参照して、エンドキャップを取付けてください。

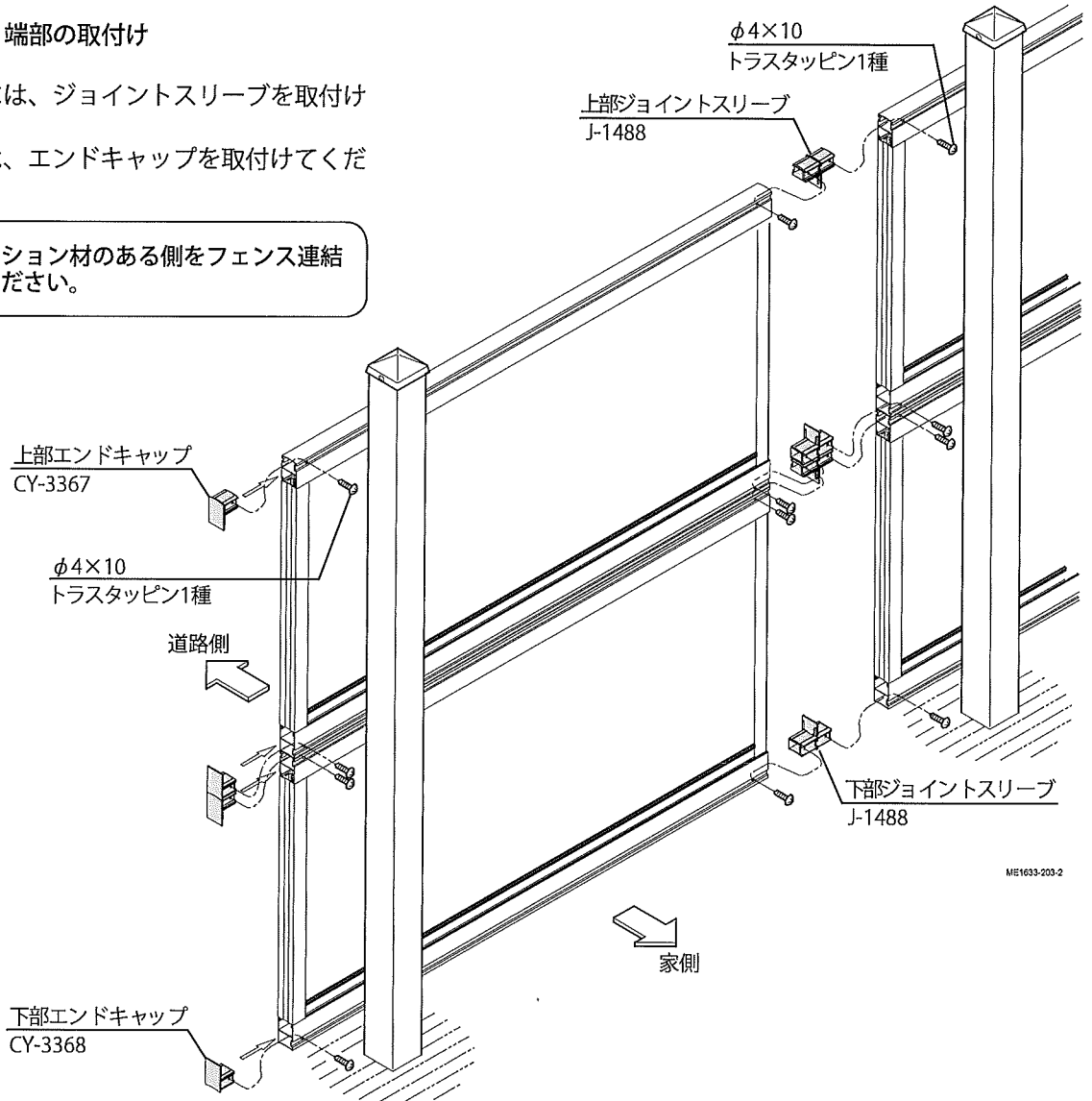
●基本的な取付けの流れ（[ME-2145] を参照）



●フェンス連結部・端部の取付け

- ②フェンス連結部には、ジョイントスリーブを取付けてください。
- ③フェンス端部には、エンドキャップを取付けてください。

**!** 必ず、クッション材のある側をフェンス連結側としてください。



ME1633-203-2

**2-2** コーナー部の取付け

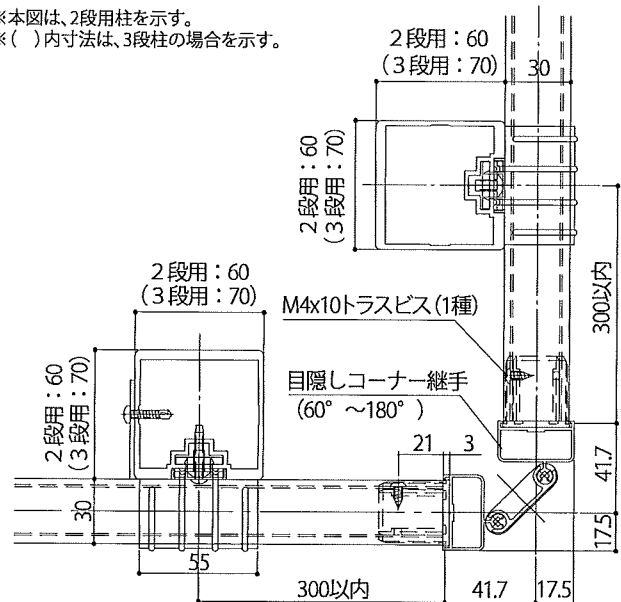
- ①「目隠しコーナー継手」の施工説明書を参照し、コーナー継手を取付けてください。
- ※コーナー部は柱2本建てとしてください。

**!** 参照説明書：  
目隠しコーナー継手 [ME-2149]

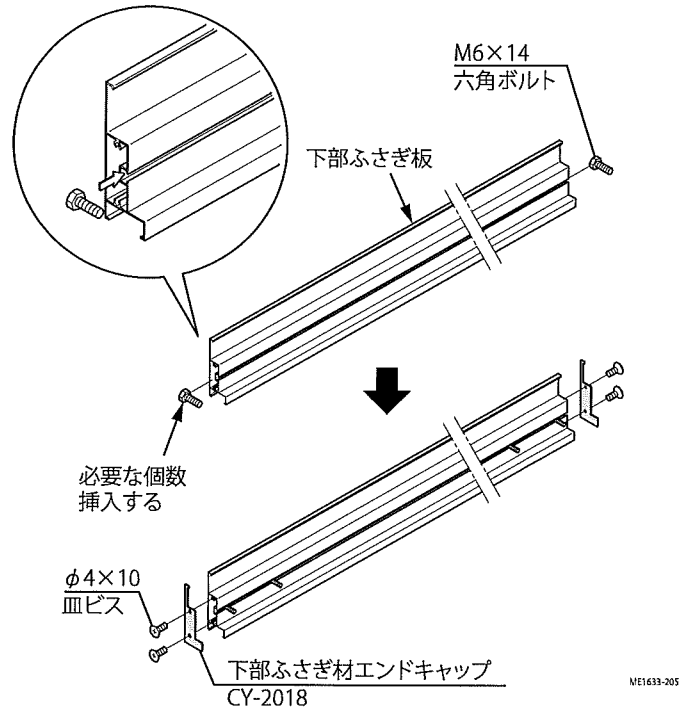
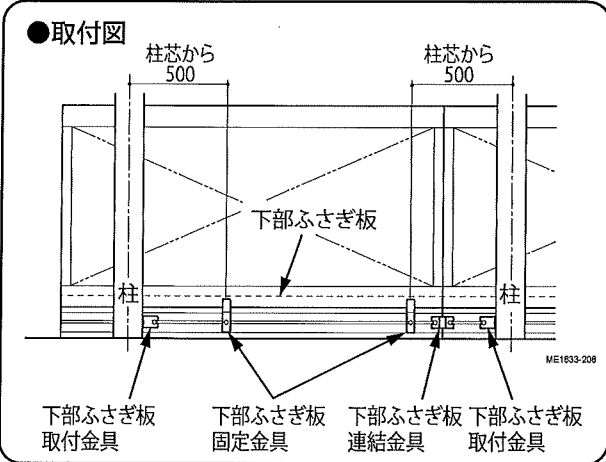
**!** 柱をコーナー部より 300mm 以内に設置してください。

**!** ●施工可能範囲：60° ~ 180°  
●取付ビス：φ 4 × 10 トラスタッピン1種  
※施工角度によっては取付けにくくなるため、注意してください。

※本図は、2段用柱を示す。  
※( )内寸法は、3段柱の場合を示す。



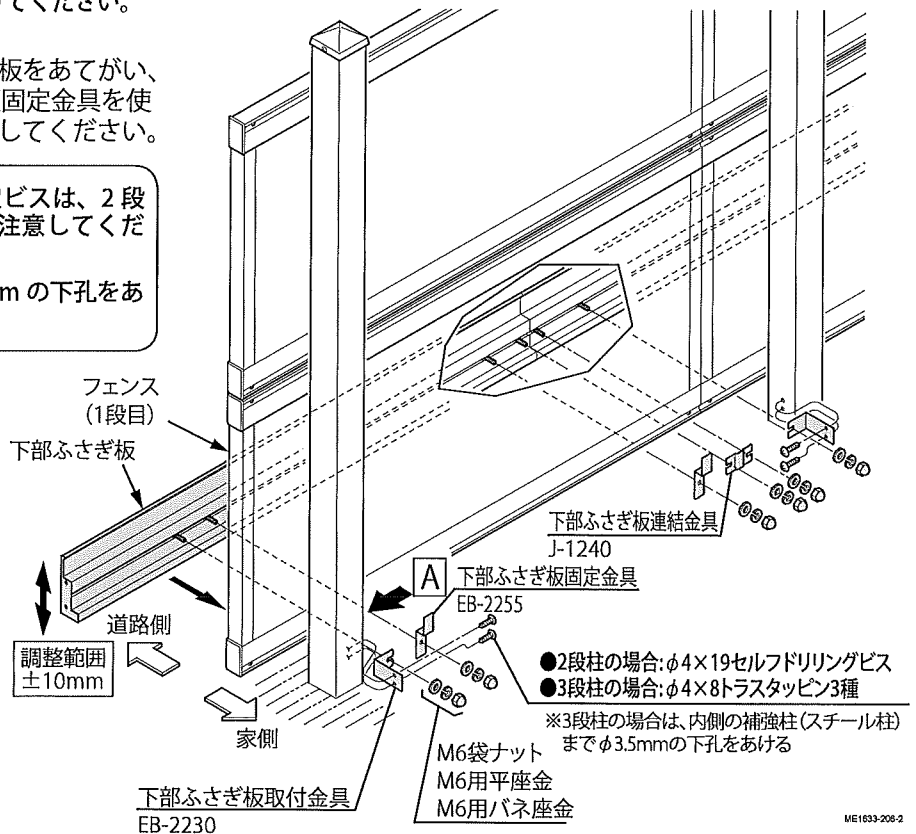
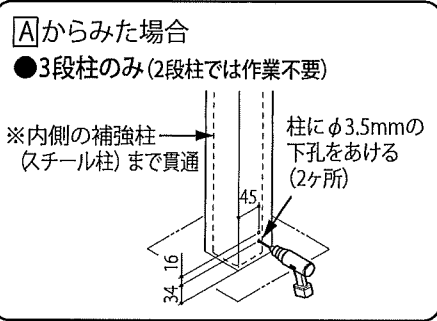
2-3 下部ふさがぎ板の取付け



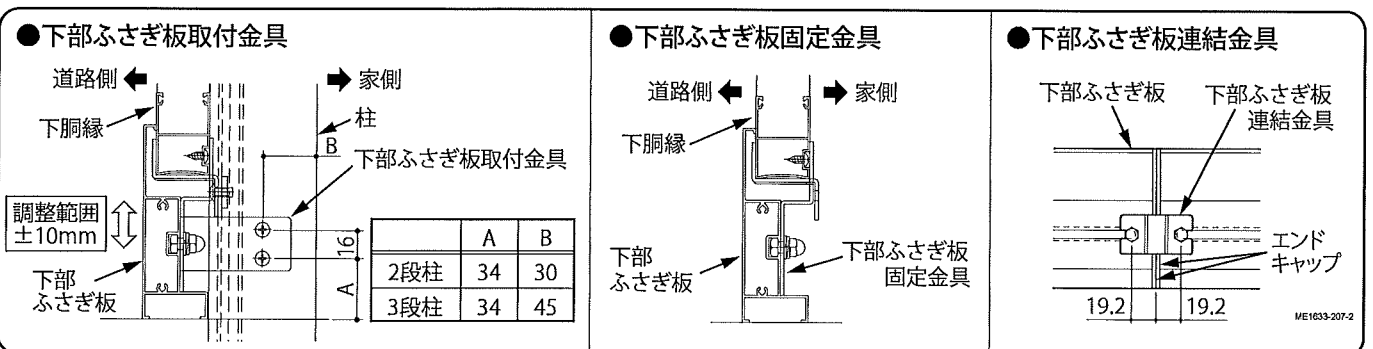
- ① 下部ふさがぎ板の溝に、六角ボルトを必要な個数スライドさせて挿入してください。
- ② 下部ふさがぎ板の両端部に、下部ふさがぎ材エンドキャップを取付けてください。  
※必ず、連結側にもエンドキャップを取付けてください。
- ③ フェンス(1段目)の下側に下部ふさがぎ板をあてがい、下部ふさがぎ板取付金具・下部ふさがぎ板固定金具を使用し、フェンスを挟み込むように固定してください。

- 下部ふさがぎ板取付金具用固定ビスは、2段柱・3段柱で異なりますので注意してください。
- 3段柱の場合は、柱にφ3.5mmの下孔をあけてください。

- ④ フェンスを連結する場合は、下部ふさがぎ材連結金具を取付けてください。



■取付部詳細図



# 3

## フェンスの切詰め

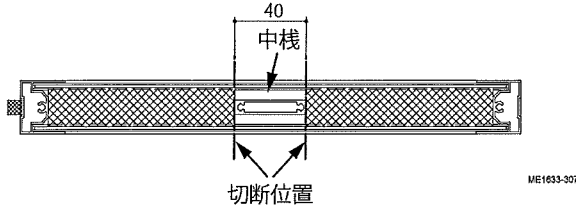
●現場の状況に応じて、フェンスの切詰めを行う場合に参照してください。

### フェンスの切詰めについて

※フェンスは、必要に応じて長さを切詰めて使用することができます。

#### ●R1型の場合

※任意の長さで切断できますが、中棧を避けて切断してください。



#### ⚠ 注意

●ケガをしないように手袋、保護メガネなどの適切な保護具を着用し、十分注意して作業を行ってください。

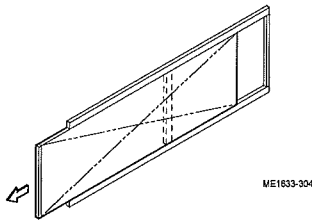
### 多孔質樹脂の切詰めについて

#### ⚠ 注意

●多孔質樹脂の切断加工には、粉じん発生の少ないカッターナイフ等の手動工具を使用し、電動工具は使用しないでください。

### 3-1 上・下胴縁の切詰め

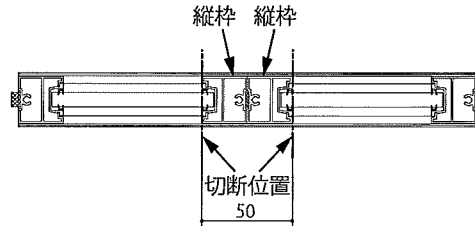
①上下胴縁は片側端部をかしめています。左右どちらか抜ける方向にスライドさせ、取外してください。



②上下胴縁・上下アタッチメントを任意の寸法で切詰めてください。

#### ●R2型

※任意の長さで切断できますが、縦枠を避けて切断してください。



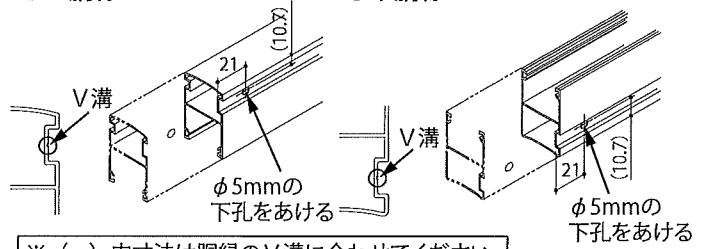
#### ●R3型

※任意の長さで切断できます。



#### ●上胴縁

#### ●下胴縁



### 3-2 フェンスの切詰め

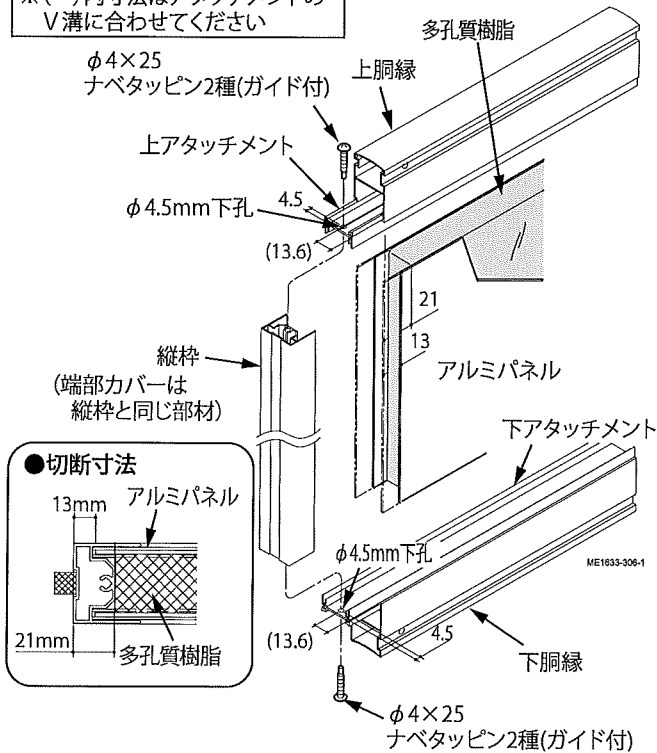
#### ●R1、R2型の場合

- ①上下アタッチメントに下孔をあけてください。
- ②パネルを指定の寸法で切断してください。
- ③多孔質樹脂、グレチャン（横）など、指定の寸法で切断してください。
- ④再度、フェンスを組立ててください。

## フェンスの切詰め

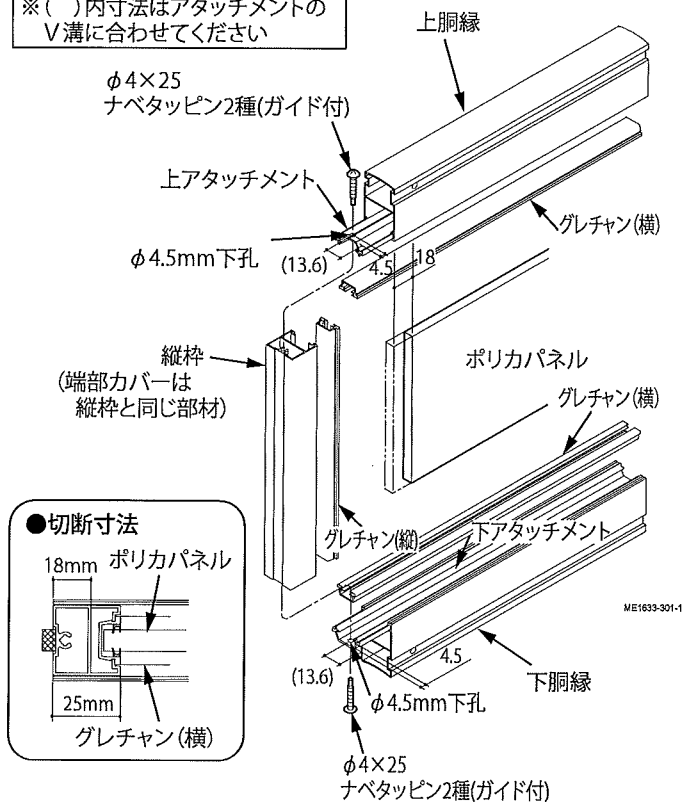
### ● R1 型の場合

※( )内寸法はアタッチメントのV溝に合わせてください



### ● R2 型の場合

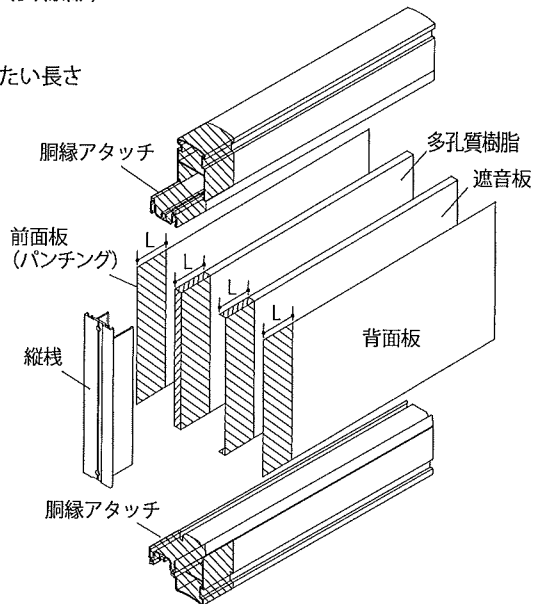
※( )内寸法はアタッチメントのV溝に合わせてください



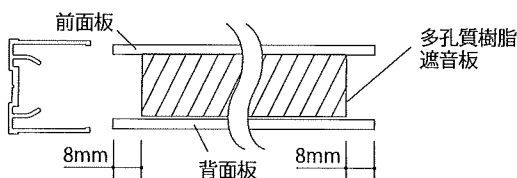
### ● R3 型の場合

- ① タッピンビスを外して各部材に分けます。  
※②号のドライバークビットを使用して十字穴をつぶさないようご注意ください。
- ② 標準パネルから短くしたい長さだけ各部材をカットします。(斜線部)

L:短くしたい長さ



※胴縁アタッチ、前面板、背面板は同じ長さになるようにカットします。多孔質樹脂と遮音板は胴縁アタッチより左右それぞれ8mm短くカットします。

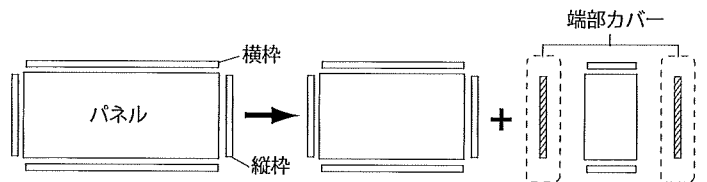


ビスを締付け過ぎないようにしてください。  
※締付け過ぎると、アタッチメントの変形の原因になります。



1枚のフェンスを切断し2枚にして使用する場合は、フェンスの切断面に端部カバー(別売品)を取付けてください。

- ③ 縦枠とタッピンビスを再利用して長さ端尺パネルを組立てます。  
※組み立て後、枠が外側に反っている場合は面材が正しく枠におさまっていません。プラスチックハンマーなどで枠が変形しない程度にたたいて矯正してください。



## ■ 施工工事店様、販売店様へのごお願い

- 「取扱説明書」に基づき(同梱されているもののみ)商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

## 株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室  0120-37-2534